

令和 2 年 2 月 27 日

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

協会けんぽ(全国健康保険協会)とは、主に中小企業の従業員とその家族が加入する健康保険です。平成 20 年に政府管掌健康保険を引き継いで設立されました。全国で約 4,000 万人、うち沖縄支部分では約 59 万人が加入しています。

協会けんぽ

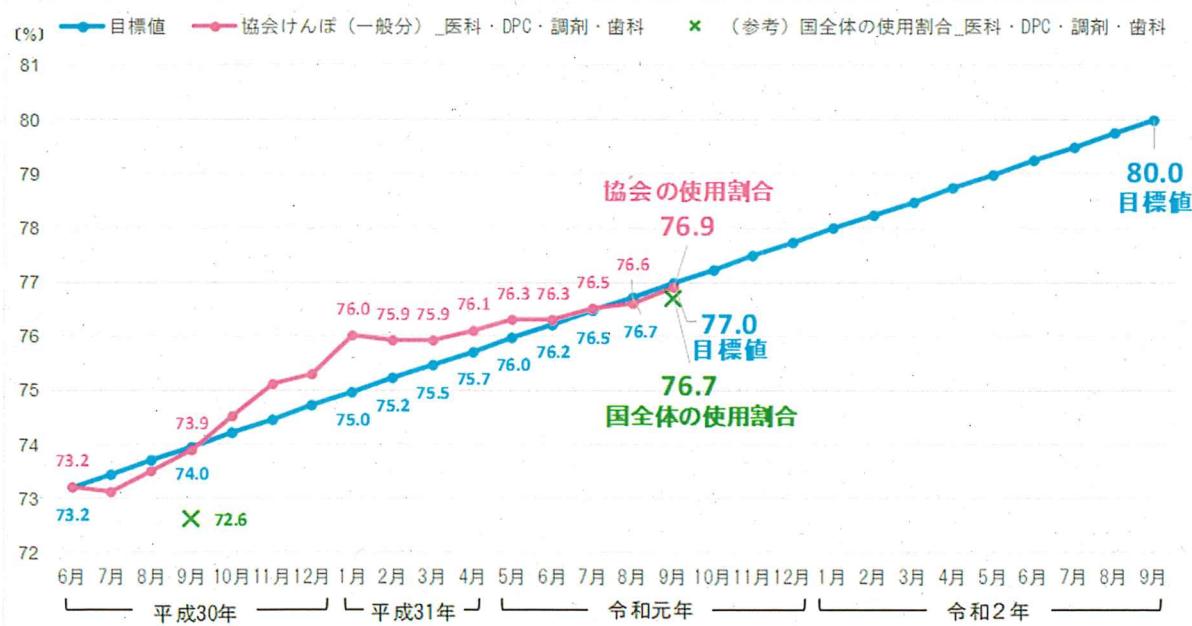
ジェネリック医薬品使用割合の目標達成に向け取組を強化

～ 令和2年9月までに 80%以上を目指して緊急対策を実施 ～

平成 29 年 6 月の閣議決定において「2020 年 9 月までにジェネリック医薬品の使用割合を 80%以上とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する」と定められました。協会けんぽにおいても、加入者の方のお薬代や保険料の負担軽減に繋がることから、ジェネリック医薬品の普及促進の様々な取組を実施しています。

ところが昨年以降、使用割合の伸びは低迷しており、このままでは令和 2 年 9 月までに目標の協会けんぽ全体の使用割合 80%以上を達成することは困難な状況です(図1参照)。沖縄支部分においては 87.4%(令和元年 10 月末現在)と使用割合 80%以上を達成していますが、令和2年度は 87.9%を目標に更なる使用割合の向上を目指しています。

[図1: 平成 30 年 6 月以降のジェネリック医薬品使用割合の現状]



そこで、協会けんぽは令和2年2月から緊急対策として以下2点の取組を実施します。

- ① ジェネリック医薬品軽減額通知サービス(以下「軽減額通知」という。)の対象を初めて 15 歳以上に拡大
- ② 医療機関・保険薬局への訪問強化

《 緊急対策の取組 》

お薬代の軽減可能額のお知らせの対象を初めて15歳以上に拡大

軽減額通知により、新薬(先発医薬品)をジェネリック医薬品(後発医薬品)に切り替えた場合のお薬代の軽減可能額を、ご本人に対して通知しています。(詳細は別紙1参照)

これまで、通知対象者は18歳以上(※2)の加入者としていましたが、令和2年2月に通知する軽減額通知は、対象年齢を引き下げ、本サービスを開始して以来初めて、15歳以上(※2)の加入者に拡大して通知します。

これは、約7割の市区町村において、15歳の年度末に乳幼児等医療費助成が終了するため、ジェネリック医薬品の切換えに繋がりやすいと考え、実施するものです。

ジェネリック医薬品への切換えをご希望いただく場合は、医師または薬剤師に、軽減額通知を持参してご相談いただくことで、スムーズに切替えができます。

厚生労働省が定めた重点地域を中心とした医療機関・保険薬局への強化

協会けんぽでは、加入者のレセプトを分析することにより、個別の医療機関・保険薬局ごとに、ジェネリック医薬品の使用割合に特に寄与する医薬品の処方状況や、当該医療機関の所在する都道府県でよく使われているジェネリック医薬品のリストを提供することで、ジェネリック医薬品を積極的に採用したいと考えている医療機関・保険薬局をサポートすることができます。(詳細は別紙2参照)

これまで、個別の医療機関・保険薬局に対して、主に郵送により情報提供を行ってきましたが、今後は、ジェネリック医薬品の使用割合が低く、都道府県平均の向上に寄与する医療機関・保険薬局に対して、積極的な訪問、説明を行うことにより、医療機関・保険薬局におけるジェネリック医薬品の使用をサポートしていきます。

ジェネリック医薬品は、効き目や安全性が先発医薬品と同等であると国から認められた安価なお薬です。お薬代の負担軽減だけでなく、医療費や保険料率の伸びの抑制につながります。お薬が処方されましたらぜひジェネリック医薬品の使用をご検討ください。

また、協会けんぽでは「ジェネリック医薬品希望シール」を配布しています。保険証やお薬手帳にこのシールを貼ることで、医師や薬剤師にジェネリック医薬品を希望していることを伝えることができるため、気軽に活用できるものとなっております。ご希望の方は協会けんぽ沖縄支部企画総務グループまでご連絡ください(Tel:098-951-2246)。

※1 年度初め時点での年齢

【添付資料】

- ・参考資料1 ジェネリック医薬品軽減額通知サービスとは
- ・参考資料2 医療機関・薬局のサポートするための情報ツール
- ・参考資料3 ジェネリック医薬品使用割合の推移
(全国平均と上位5県)
- ・別添 ジェネリック医薬品希望シール

【お問い合わせ先】

〒900-8512 那覇市旭町114-4 おきでんビル8階
全国健康保険協会沖縄支部 担当: 企画総務グループ 宮里
TEL:098-951-2246 FAX:098-951-2295

ジェネリック医薬品軽減額通知サービスとは

ジェネリック医薬品軽減額通知サービスとは、お薬代の負担の軽減につながる「ジェネリック医薬品」の普及の推進のため、処方された新薬（先発医薬品）をジェネリック医薬品（後発医薬品）に切替えた場合に、お薬代の自己負担額がどのくらい軽減されるかを試算したお知らせを一定額以上お安くなる方へお送りします。

このサービスは、平成 21 年度から実施しており、平成 30（2018）年度の通知件数は約 670 万件、切替約 186 万件で切替率は約 27.7% でした。軽減効果額は一か月で約 27.5 億円、年間推計すると約 330 億円となります。

参考：令和元年 8 月通知分の見本

見本																					
ジェネリック医薬品をお使いいただくと あなたのお薬代を減らすことができます																					
1 平成 31 年 4 月に処方されたお薬のうち、 以下の医薬品をジェネリック医薬品に変更した場合	2 お薬代の軽減可能額 5,350 円～																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成 31 年 4 月 部分分割処方されたお薬（先発医薬品）</th> </tr> <tr> <th>医療機関/ 販売店</th> <th>品名</th> <th>お薬代 （1 回分）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東邦製薬</td> <td>アスピリン錠 1.0 g × 100錠</td> <td>5,690</td> </tr> <tr> <td>ロート製薬</td> <td>ロートコロナ清涼錠 (0.1%)</td> <td>1,860</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e6f2ff;">③</td> <td>ロートカーボ 1.0 g × 100錠</td> <td>870</td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>ロートテープ 40 mg × 10 cm</td> <td>2,490</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロートテープ 20 mg × 7 cm</td> <td>1,230</td> </tr> </tbody> </table>		平成 31 年 4 月 部分分割処方されたお薬（先発医薬品）		医療機関/ 販売店	品名	お薬代 （1 回分）	東邦製薬	アスピリン錠 1.0 g × 100錠	5,690	ロート製薬	ロートコロナ清涼錠 (0.1%)	1,860	③	ロートカーボ 1.0 g × 100錠	870	医療機関	ロートテープ 40 mg × 10 cm	2,490		ロートテープ 20 mg × 7 cm	1,230
平成 31 年 4 月 部分分割処方されたお薬（先発医薬品）																					
医療機関/ 販売店	品名	お薬代 （1 回分）																			
東邦製薬	アスピリン錠 1.0 g × 100錠	5,690																			
ロート製薬	ロートコロナ清涼錠 (0.1%)	1,860																			
③	ロートカーボ 1.0 g × 100錠	870																			
医療機関	ロートテープ 40 mg × 10 cm	2,490																			
	ロートテープ 20 mg × 7 cm	1,230																			
4 合計 12,190	2 6,350～																				
5 このお知らせは、ジェネリック医薬品への変更をご検討いただく際の参考としてお送りしているものです。 必ずしもジェネリック医薬品に切り替えることになります。																					
Q. 具体的なジェネリック医薬品の 名前が書いていないのはなぜ？																					
A. 1つの先発医薬品に対し、複数のジェネリック 医薬品が存在する場合があるため、この「お知らせ」 には具体的なジェネリック医薬品名を記載していません。 具体的なお薬については、かかりつけの医療機関または 薬局でご相談ください。																					

ジェネリック医薬品軽減額通知サービスの軽減効果額等一覧

年度	通知対象条件	コスト	通知件数	軽減効果 人数 (切替率)	軽減額／月	軽減額／年 (※1)
21年度	➢ 40歳以上の加入者 ➢ 軽減効果額200円以上	約7.5億円	約145万件	約38万人 (26.2%)	約5.8億円	約69.6億円
22年度	➢ 35歳以上の加入者 ➢ 軽減効果額300円以上 ➢ 21年度通知者は対象外	約4.7億円	約55万件	約11万人 (21.5%)	約1.4億円	約16.8億円
23年度	➢ 35歳以上の加入者 ➢ 軽減効果額300円以上 ➢ 22年度通知者は対象外	約5.0億円	【1回目】 約84万件	約20万人 (23.3%)	約2.5億円	約30.0億円
			【2回目】 約21万件	約5万人 (25.4%)	約0.8億円	約9.3億円
24年度	➢ 35歳以上の加入者 ➢ 軽減効果額は医科400円以上、 調剤200円 (2回目は400 円) 以上 ➢ 23年度通知者は対象外	約4.8億円	【1回目】 約96万件	約24万人 (25.1%)	約3.1億円	約37.2億円
			【2回目】 約27万件	約7万人 (24.9%)	約0.9億円	約10.8億円
25年度	➢ 35歳以上の加入者 ➢ 軽減効果額は医科400円以上、 調剤250円 (2回目は400 円) 以上	約2.4億円	【1回目】 約134万件	約32万人 (24.0%)	約4.4億円	約52.8億円
			【2回目】 約50万件	約15万人 (29.0%)	約2.5億円	約30.3億円
26年度	➢ 35歳以上の加入者 ➢ 軽減効果額は医科600円以上、 調剤150円以上	約3.9億円	【1回目】 約166万件	約46万人 (28.0%)	約7.0億円	約84.3億円
			【2回目】 約163万件	約42万人 (25.7%)	約6.1億円	約73.4億円
27年度	➢ 35歳以上の加入者 ➢ 軽減効果額は医科600円以上、 調剤100円以上	約4.0億円	【1回目】 約181万件	約51万人 (28.1%)	約7.3億円	約87.2億円
			【2回目】 約194万件	約56万人 (29.0%)	約8.4億円	約101.3億円
28年度	➢ 20歳以上の加入者 ➢ 軽減効果額は医科600円以上、 調剤100円 (2回目は50円) 以上 ➢ 対象診療月を従来の1ヶ月分 から2ヶ月分に拡大	約6.2億円	【1回目】 約307万件	約78万人 (25.3%)	約11.3億円	約136.0億円
			【2回目】 約303万件	約76万人 (25.3%)	約11.2億円	約134.1億円
29年度	➢ 20歳以上の加入者 ➢ 軽減効果額は医科600円以上、 調剤50円以上 ➢ 対象診療月は2ヶ月分	約7.7億円	【1回目】 約358万件	約98万人 (27.4%)	約15.6億円	約187.0億円
			【2回目】 約346万件	約117万人 (33.8%)	約20.7億円	約248.7億円
30年度	➢ 20歳以上の加入者 ➢ 軽減効果額は医科600円以上、 調剤50円以上 ➢ 対象診療月は3ヶ月分	約7.0億円	【1回目】 約371万件	約101万人 (27.2%)	約14.6億円	約175.2億円
			【2回目】 約298万件	約85万人 (28.5%)	約12.9億円	約154.8億円
合計		約53.2億円	約3,298万件	約902万人 (27.3%)	約136.5億円	約1,638.6億円

※1 軽減額 (月) ×12ヶ月 (単純推計)

参考資料2

医療機関・薬局のサポートするための情報ツール

医療機関・保険薬局向けに、ジェネリック医薬品の処方（調剤）割合、地域における医療機関（保険薬局）の処方（調剤）割合の立ち位置、医療機関（保険薬局）におけるジェネリック医薬品数量割合向上に寄与する上位10医薬品など、個別の医療機関・保険薬局の情報を掲載したツールです。

医療機関・保険薬局への情報提供を平成28年度より実施しており、令和元年度においては、医療機関への訪問163件、保険薬局への訪問を134件実施しております。（令和元年12月末時点）医療機関や保険薬局からは、「思ったより使用割合が低かった。今後のジェネリック医薬品を採用する参考としたい」、「院内で協議し処方せんの「ジェネリック変更不可」へのチェックをしない方針としたい」といったお声を頂戴しております。

加えて、協会けんぽ加入者の対象月に係るレセプトを活用し、医療機関・保険薬局のジェネリック医薬品の採用を支援するため、都道府県ごとの医薬品の処方実績を見える化した「医薬品実績リスト」も情報提供をいたします。

参考：「ジェネリック医薬品に関するお知らせ（院内版）」の見本
(表面)

5.貴医療機関における後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品

後発品数量割合向上に寄与する上位10医薬品をお知らせします。
医薬品0.0%に達していない医薬品は、将に後発品の使用促進にご協力をお願いします。

医薬品	後発品割合									
アムロジン	3.71%	3.42%	2.05%	1.76%	1.39%	1.22%	1.19%	1.16%	1.07%	0.95%
アムロジン	0.0%	0.0%	49.4%	56.8%	0.0%	0.0%	70.6%	35.9%	26.6%	0.0%
アムロジン	74.1%	67.6%	66.6%	49.2%	55.5%	65.7%	63.7%	11.6%	45.5%	42.1%
アムロジン	62.9%	54.5%	77.1%	44.3%	66.5%	59.2%	66.6%	10.4%	47.5%	44.1%

後発品の割合が高い医薬品の多い方に見ていく場合があります。

後発品の割合が高い医薬品の多い方に見ていく場合があります。

対応方法・後発品割合は参考しております。

000-0000
●●市●●丁目1番2号

ジェネリック医薬品に関する
お知らせ（院内版）
～医療機関の処方状況について～

全国健康保険協会 ○○○支店
〒XXXX-XXXX
○○○市○○区○○-○○○
TEL: XXX-XXX-XXXX

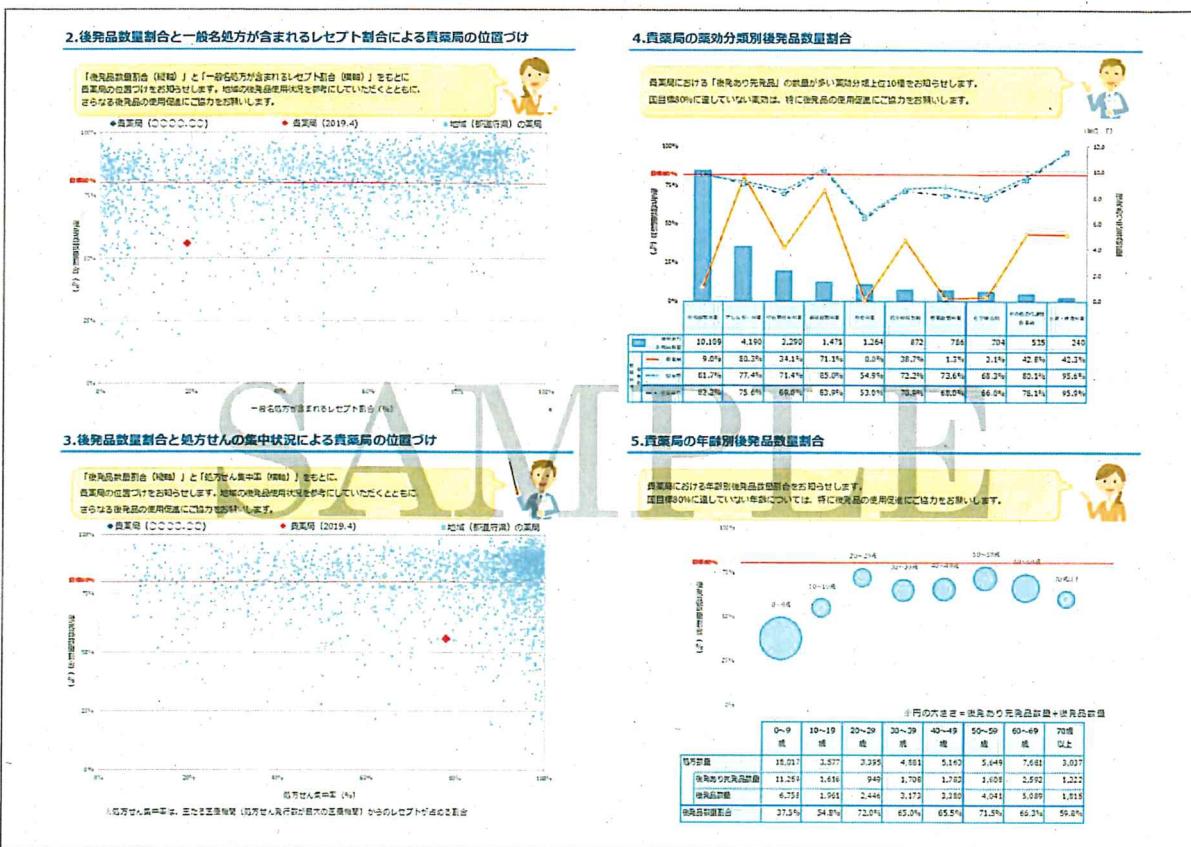
1. 協会けんぽ加入者への処方状況

「貴医療機関」「二次医療圏」「県平均」の後発品にかかる処方状況をお知らせします。

医療法人 ● ● 病院	院内基準	二次医療圏平均	県平均
貴医療機関にて算出した協会けんぽの加入者数	725人	217人	223人
後発品を処方した加入者数	257人	47人	47人
後発品を処方した加入者割合	50.6%	21.6%	21.1%
貴医療機関の加入者数	115,746	7,274	7,613
後発品を処方した加入者数	33,423	1,604	1,581
後発品の加入者割合	45.1%	3.11%	3.3%
後発品を処方	59.5%	66.0%	68.1%
貴医療機関に処方した医薬品の剤別生産額	6,073,551円	1,239,277円	1,149,513円
後発品の剤別生産額(10割)	598,737円	116,008円	118,220円
後発品を処方割合(10割)	15.2%	9.4%	10.3%

当社に掲載している情報は、協会けんぽ 平成21年4月に各分の定期レセプトにもとづいています。
加入料（DHC会員）レセプトカウントの場合、入力と入力で算出して前方計算を表示しています。

(裏面)



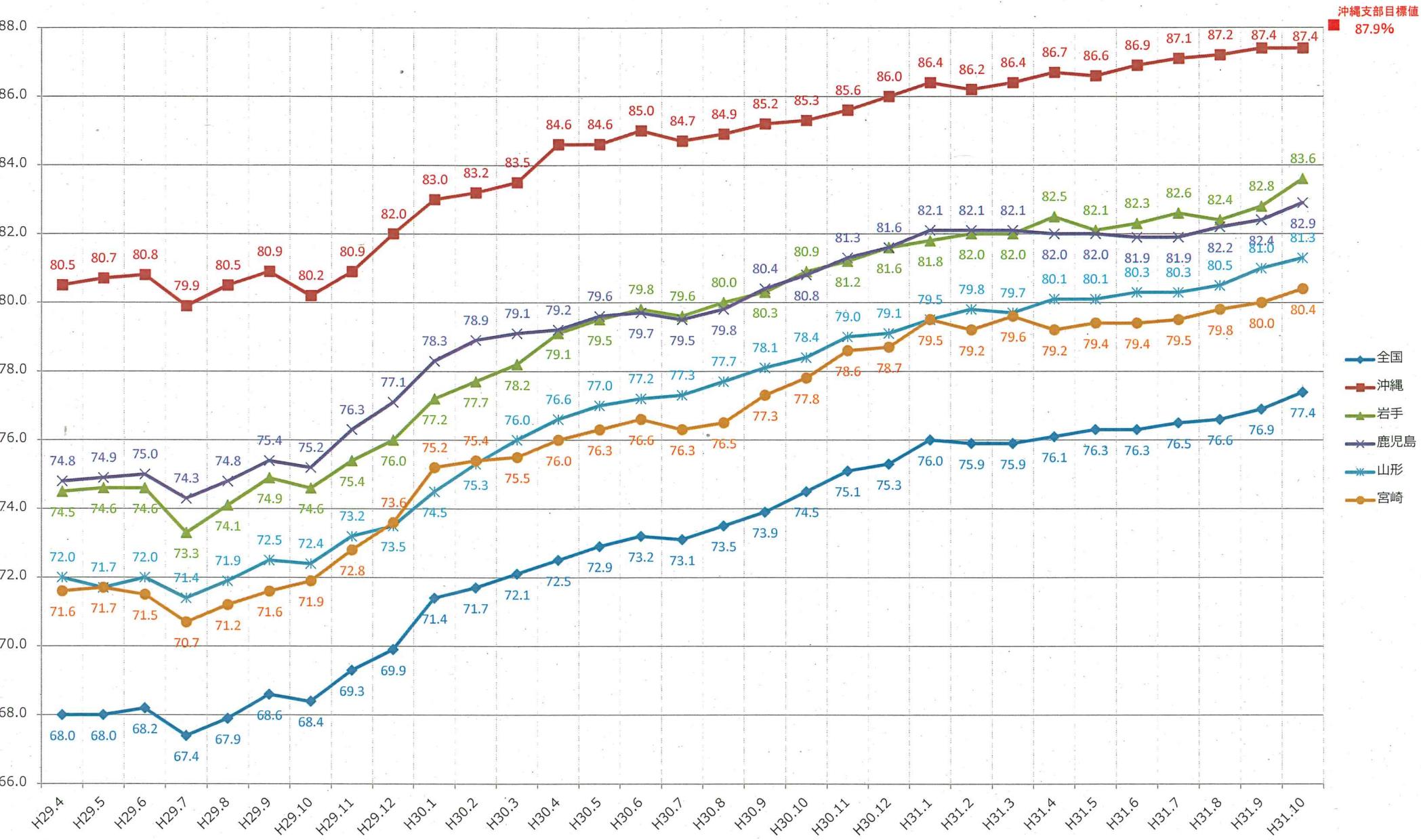
参考：「医薬品実績リスト」の見本

五十音	No.	医薬品名	メーカー名	薬価基準取扱 医薬品コード	薬効分類 コード	一般名处方の 標準的な記述	薬価	数量	医療 機関数	薬局数	患者数	患者 割合
ア	1	先発 アーチスト錠1.0mg	---	2149032F1021	214	【般】カルベジロール錠1.0mg	48.3	35,073	77	323	692	16%
		カルベジロール錠1.0mg「サワイ」	沢井製薬	2149032F1099			19.3	123,757	79	598	2,059	
		後発 カルベジロール錠1.0mg「トーワ」	東和薬品	2149032F1129			19.3	30,815	38	172	583	84%
	2	その他					~19.3	50,823	42	268	896	
		先発 アーチスト錠2.5mg	---	2149032F4020			22.0	33,404	55	201	379	17%
		カルベジロール錠2.5mg「サワイ」	沢井製薬	2149032F4039			9.9	126,723	60	515	1,408	
		後発 カルベジロール錠2.5mg「トーワ」	東和薬品	2149032F4098			9.9	23,685	12	85	275	83%
		その他					~9.9	14,426	---	55	144	
	3	先発 アイミクス配合錠HD	大日本住友製薬	214911BF2026			132.8	31,592	56	258	693	24%
		イルアズクス配合錠HD「D S P B」	D S フーマプロモ	214911BF2034			53.1	59,925	21	321	1,269	
		後発 イルアズクス配合錠HD「杏林」	キヨーリンリメディオ	214911BF2093			53.1	10,005	---	80	213	76%
イ	4	その他					~53.1	34,905	22	244	744	
		先発 アイミクス配合錠L D	大日本住友製薬	214911BF1020			115.8	22,170	40	189	495	27%
		イルアズクス配合錠L D「D S P B」	D S フーマプロモ	214911BF1038			46.3	36,589	12	265	766	
		後発 イルアズクス配合錠L D「杏林」	キヨーリンリメディオ	214911BF1097			46.3	6,666	---	55	150	73%
		その他					~46.3	10	166	221		
		リシノブリル錠1.0mg「トーワ」	日医工	2144006F2108	214	【般】リシノブリル錠1.0mg	11.0	47,255				
		リシノブリル錠1.0mg「医工」	日医工	2144006F2150			11.0	3,767	---	33	62	
		後発 リシノブリル錠1.0mg「タイヨー」	武田テバファーマ	2171008F2134			11.0	2,420	---	32	47	86%
		リシノブリル錠1.0mg「サワイ」	沢井製薬	2144006F2169			17.5	2,355	---	29	46	
		その他					~17.5	385	---	---	---	
ウ	1361	先発 ワラバミル塩酸地錠4.0mg	マイラン E P D	2171008F1070	217	【般】ベラバミル塩酸地錠4.0mg	7.1	68,207	114	295	656	43%
		後発 ベラバミル塩酸地錠4.0mg「タイヨー」	武田テバファーマ	2171008F1088			6.3	64,184	23	306	595	
		ベラバミル塩酸地錠4.0mg「J G」	大興製薬	2171008F1118			6.3	19,676	13	98	158	57%
	1362	後発 ベラバミル塩酸地錠4.0mg「ツルハラ」	創研製薬	2171008F1126			6.3	14,372	11	48	132	
		その他					~6.3	12,321	24	112	577	
他	1363	先発 プロメタジン錠	塙野義	1180107D1131	118	【般】プロメタジン1.35%等配合 非ヒリン系感冒剤	6.4	76,758	314	821	3,454	52%
		後発 プロメタジン錠	東和薬品	1180107D1123			6.2	44,513	38	441	2,185	
	1364	後発 サラザック配合顆粒	武田テバファーマ	1180107D1107			6.2	10,086	---	89	479	48%
		その他					~6.2	12,321	24	112	577	
他	1364	先発 ジアゼバム錠2mg	武田薬品	1124017F2135	112	【般】ジアゼバム錠2mg	5.9	21,267	49	177	354	24%
		後発 ジアゼバム錠2mg「アメル」	共和薬品	1124017F2194			5.6	33,627	35	165	531	
	1364	後発 ジアゼバム錠2mg「トーワ」	東和薬品	1124017F2054			5.6	27,292	25	147	399	76%
		その他					~5.6	12,314	11	78	174	

ジェネリック医薬品使用割合の推移（全国平均と上位5県）

平成31年度新指標

-平成31年10月現在-



ジェネリック医薬品希望シール

表

『ジェネリック医薬品』をご存じですか？

医師・薬剤師の皆様へ 医師・薬剤師の皆様へ 医師・薬剤師の皆様へ 医師・薬剤師の皆様へ

ジェネリック医薬品を ジェネリック医薬品を ジェネリック医薬品を ジェネリック医薬品を
希望します。 希望します。 希望します。 希望します。

医師・薬剤師の皆様へ 医師・薬剤師の皆様へ

**ジェネリック医薬品を ジェネリック医薬品を
希望します。**

ジェネリック医薬品に関するご説明をお願いします。

 全国健康保険協会
協会けんぽ

医師・薬剤師の皆様へ

**ジェネリック医薬品を ジェネリック医薬品を
希望します。**

ジェネリック医薬品に関するご説明をお願いします。

 全国健康保険協会
協会けんぽ

ジェネリック(後発)医薬品は、効き目や安全性が先発医薬品と同等であると国から認められた安価なお薬であり、お薬代の負担軽減につながります。

このシールは、はがして健康保険証やお薬手帳などの余白部分に貼ってお使いください。

- ジェネリック医薬品の希望を医師や薬剤師にお伝えしやすくするため、「ジェネリック医薬品希望シール」を作成しましたので、医療機関や薬局の窓口等でご活用ください。
- ジェネリック医薬品を希望される方は、医師や薬剤師にご相談ください。

 全国健康保険協会
協会けんぽ
<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

裏

同じ有効成分ながら、
安価な点が特徴です。

医薬品は開発に費用が多くかかりますが、開発期間が短くて済むジェネリック医薬品は価格が安くなっています。

安全性も品質も
変わりません。

ジェネリック医薬品は、これまで効き目や安全性が実証されてきたお薬と同等であると国から認められた上で製造、販売が承認されています。

表面のシールをはがして健康保険証やお薬手帳などの余白部分に貼ってお使いください。

※ 印字された文字に重ならないようご注意ください。

医師・薬剤師の皆様へ

**ジェネリック医薬品を
希望します。**

ジェネリック医薬品に関するご説明をお願いします。

 全国健康保険協会
協会けんぽ

[留意事項]

- ・ ジェネリック医薬品は医療用医薬品ですから、病院や診療所の医師による処方せんが必要です。
- ・ すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。
- ・ 使用できる病気（効能）が異なる場合や、在庫がない場合など切り替えることがない場合があります。